

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2020の表彰に際して

寺尾信子（寺尾三上建築事務所・代表取締役）

受賞者の皆様 おめでとうございます！！

表彰式の中止が2度に及びましたことは残念でありませんが、賞の中止には至らず例年通りに結果の発表がありましたこと、関係された全ての方のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

私の審査委員初年度の2012年と2020年を比較し、応募企業数37社→214社（5.8倍）、応募件数87件→305件（3.5倍）と応募数が増大しました。「UA値やBEI」などは年々高度化しています。省エネに真剣に取り組む企業層の厚みを増すことに、本賞は多大な貢献をしていると確信します。全応募資料を審査用に整理する精緻な事務局作業の後、厳正な審査が実施されています。2014年開始の審査委員賞で、寺尾賞は「三井ホーム」「シンホリ」「琉球住楽」「安成工務店」「チェックハウス」「渡邊工務店」「鈴木環境建設」各社に贈らせて頂きました。共通視点は「省エネ性能の確保」と「まちなみへの配慮ある意匠・明るく豊かな住空間の創造」を車の両輪としてバランス良く追及されている姿勢への評価でした。2020年寺尾賞の「鈴木環境建設」は応募住宅における2019年と2020年の対比が鮮やかでした。UA値・BEIは同レベルですが、暖冷房・換気システムが異なり2020年は「パッシブ換気」を明確な方針にされていました。停電時でも対応できる換気システムを「未来基準の家」と称して被災地石巻市から自信を持って発信されている姿勢に力強さを感じました。

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジーへの参加で相互研鑽の上、常に高みを目指されている全応募社と、多大な社会貢献をされている本賞主催関係者の方々に、心からの敬意を表します。